

2月1日

千田ケヨさん 100歳  
(水沢南町)

冒寿



胆沢南都田で生まれ、19歳で故・祐吉さんと結婚。2男2女をもうけ、孫9人、ひ孫9人、やしやご1人に恵まれています。長寿の秘訣は、好き嫌いなく何でも食べ、間食を取らないこと。お祝いに集まった家族や入所施設の職員、利用者からの祝福を受け、ケヨさんは「ありがとう」と涙を流しながら感謝を伝えました。

2月2日

高橋幸吉さん 100歳  
(衣川野崎)

冒寿



衣川下大森で生まれ、故・高橋イツ子さんと結婚。3男1女をもうけ、孫12人、ひ孫10人に恵まれています。体を動かすことが長生きの秘訣と語る幸吉さん。今でも牛の世話や草取り、毎日の散歩を行っているそうです。祝う会では、用意された誕生日ケーキの火を一息で吹き消し、元気な姿を家族に見せていました。

2月2日

情報を利活用し、  
災害から命を守る

市政



市は、地域ぐるみ防災セミナーを江刺総合支所で開催し、市民や防災関係者ら約150人が参加しました。講演では、気象予報士の和田幸一郎さんが、台風などの災害が発生した場合の気象情報の活用方法などを分かりやすく説明。早速スマートフォンを手に取り、災害に備え確認する参加者の姿も見られました。

2月22日

協働への理解を深め  
よりよい奥州市を目指す

市政



奥州市民憲章推進大会協働のまちづくりフォーラムが胆江地区勤労者教育文化センターで開催されました。第6期協働のまちづくりアカデミー受講生が成果発表を行ったほか、地区先進事例の発表や岩手大学農学部 の広田純一教授をコーディネーターとしたパネルディスカッションが行われ、協働への意識を高めました。

2月22日

市産食材を使い  
若きシェフが腕を競う

イベント



市産食材のPRなどを目的に開催している「食の黄金文化・奥州 料理コンクール」の最終審査が水沢第一高校で行われました。テーマは牛肉とピーマンを使った「元気が出るレシピ」。書類審査を通過した県内外の高校生や若手料理人10人が出場し、同校1年の高橋青那さんが優秀賞を受賞しました。

2月22日

上姉体幼稚園が  
62年の歴史に幕

市政



園児の減少により本年度末で閉園する上姉体幼稚園の閉園式が、市内ホテルで開かれました。関係者の挨拶やDVDの上映、園旗返納などが行われ、62年の歴史に幕を下ろしました。DVDの上映では、同園を訪れた卒業生たちが当時を懐かしみ、感謝する様子が映し出され、出席者の中には涙ぐむ姿も見られました。

2月2日～14日

台湾での芸術交流を報告

イベント



北股地区振興会と北股会は、地元の画家・加瀬薫さん(39)を応援する絵画展を市まちなか交流館で開きました。5日には、加瀬さんが昨年末に台湾の芸術家イベントに参加した様子などを、同行した地域おこし協力隊の陳平芸さんが紹介。説明のリズムに合わせて加瀬さんが絵を描き、集まった観衆の目を引きました。

2月16日

チームワークで  
勝利を引っ張れ

イベント



市民体育祭綱引競技が江刺西体育館で開催されました。今年は、初めて高校生チームのエントリーもあり、熱戦が繰り広げられました。競技を終えた奥州ラグビースクールの荒井柊人さん(水沢小5年)は「綱引きはチームワークが大切。ラグビーの試合でもチームワークを生かして頑張りたい」と語っていました。

2月20日

ユースオリンピック  
冬季大会金メダルを報告

イベント



1月に行われたユースオリンピック冬季競技大会にアイスホッケー女子日本代表選手として参加し、金メダルを獲得した福田奈生さん(水沢中2年)が小沢昌記市長を表敬訪問しました。福田さんは「金メダルの重みを感じた。2年後の北京五輪は難しいが、その次の五輪には確実に出場したい」と熱く語りました。

2月22日

猫ノ図書館3周年で  
図書館に活気

イベント



胆沢図書館の猫本コーナー「猫ノ図書館」が猫の日に3周年を迎え、記念セレモニーが行われました。たくさんの来館者が見守る中、ねこ館長の「むぎ」に辞書書が手渡されたほか、記念グッズのブックカバーや猫みくじも披露。イベントなども同時に開催され、胆沢図書館は活気に満ちあふれていました。

2月27日

菊池トシ子さん 100歳  
(江刺藤里)

冒寿



江刺藤里で生まれ、25歳で故・由太郎さんと結婚。2女をもうけ、孫4人、ひ孫4人に恵まれています。働き者だったトシ子さんは、子育てをしながら由太郎さんと二人で一生懸命に働き、田畑を増やして蔵を立てたそうです。現在は家族に囲まれて幸せに暮らしており、ひ孫たちと過ごすことが一番の楽しみです。

2月28日～3月3日

城下町水沢に  
くくり雛が春を告げる

イベント



くくり雛まつりがメイプルをメイン会場に水沢地域の13会場で開催されました。江戸時代中期が起源とされるくくり雛は「押し絵」の技法で作られた雛人形のことです。会場では、色鮮やかなくくり雛がひな壇に並んで展示され、訪れた来場者の目を楽しませていました。